

第62回河内長野市地域公共交通会議
運賃協議についてのワーキンググループ議事録

会議名称	第62回河内長野市地域公共交通会議 運賃協議についてのワーキンググループ
開催日時	令和6年1月31日（水） 午後4時30分～
開催場所	河内長野市役所 801会議室
公開・非公開の別 （非公開とした 場合はその理由）	非公開：道路運送法により協議運賃に関する協議をする場合の構成員が限定されているため。
傍聴者	0人
出席委員	別紙出席者名簿のとおり
会議次第	楠ヶ丘地域乗合タクシー「くすまる」の運賃改定について
会議内容	別紙会議内容のとおり

第62回 河内長野市地域公共交通会議運賃協議についてのワーキンググループ内容

発言者	内容（要旨）
事務局	<p>第62回 河内長野市地域公共交通会議 運賃協議についてのワーキンググループ開会の案内</p> <p>（運賃協議に関するワーキンググループに関する説明）</p> <p>先ほど地域公共交通会議の中で大阪運輸支局の大石様からご説明がありましたとおり、道路運送法の改正により令和5年10月1日から協議運賃に関して、協議の方法が変わり、地域公共交通会議とは別の運賃協議会での協議が必要となりました。本市においては、地域公共交通会議の中のワーキンググループという形で協議を行うことといたします。運賃協議に関するワーキンググループの構成員に関しては、道路運送法第9条第4項に基づき構成しております。また、本日はオブザーバーとして、楠ヶ丘自治会より副会長の中園様、交通対策委員会から瀧上委員長にご参加いただいております。</p>
事務局	<p>引き続き事務局より、議題の楠ヶ丘乗合タクシー「くすまる」の運賃改定に関して、これまでの市の関わり等について説明。</p>
小川委員	<p>先ほど、交通会議でも説明があったが、本運行から11年が経過する中で、運行経費の値上げは行わず、運行を継続してきたが、昨今の燃料費の高騰もあるが、一番大きい理由としては、人件費、ドライバーの確保、労働条件の改善が今回の値上げの最大の目的です。元々2名体制で運行していたが、現在はメインのドライバー1名にサブドライバー1名の体制で運行している。昨年度にタクシーの運賃改定があり、なかなかドライバーの協力が得られにくい状況にある。今後、労働条件を改善し、新たなドライバーの確保を行いたいと考えている。乗合事業は、利益を求めものはないという認識であるが、このような状況を踏まえて、今回値上げをお願いしたという次第です。</p>
事務局	<p>引き続き、事務局より「運賃の値上げの考え方、運用」などについて説明。</p>
オブザーバー 瀧上氏	<p>最初、市の方からこの件に関して、打診をいただいた際に公共交通対策委員会で協議した結果、地域としては代替手段がない、くすまるがないと動けない、何としてでも継続していきたいという意見になりました。その中で、みんなが納得する方法を考えたときに、いろんな考え方の人がいるので、自治会の負担では、地域の理解を得にくいと考え、運賃の改定もやむなしという結論に至りました。本件について、地域の代表の方が集まる幹事会において、市と第一交通(株)より説明がありまし</p>

	<p>た。幹事会とは、楠ヶ丘自治会内で15世帯の代表1名ずつ集まる会合です。その中でいくつか質問はありましたが、総論として値上げもやむなしという結論に至りました。地域としては、何としてでも継続していきたい。利用者を増やしていきたいと考えています。最終的には市の補助なしで、独立して運営していきたい。しかしながら、すぐには利用者を増やすことは難しいため、自治会としても少しずつ利用者を少しずつ増やしていけるような取り組みとして、回数券をたくさん使ってもらった人に自治会の負担で補助するなど利用者を増やすための取り組みをしています。先ほど値段についての話があったが、もっと10円、20円という細かい単位で値上げできないかという話もあったが、くすまるがどうしてもなくなっては困る。長い目で見て安定した運行をしてほしいということで自治会の方からまとまった値上げをお願いしました。</p>
事務局	<p>事務局より、運賃の値上げに関する流れについて現在の手続き状況と今後の手続きについて説明。</p>
大石委員	<p>国としても賃上げに繋げる運賃改定に関する施策を行ってきたので、今回の値上げの背景はまさに国の施策と合致している。今後の議論としては、利用者が増えたからと言って、安易に運賃の値下げに踏み切るのではなく、サービスの水準をあげることに運賃の値下げに踏み切ることを天秤にかけていただきたいと思います。協議事項に関する意思決定の手法としては、今回実施していただいたように地域公共交通会議でご説明いただくと、公式の場で広く多くの人意見を聞くことができるので、意思決定を行う際に安心感をもって協議に臨むことができると考えます。また、この会議についても、地域公共交通会議が書面で開催される場合があるのと同様に、書面で開催する手法もあるので、ケースによって合理的な方法で実施するのもいいと考えます。</p>
内田委員	<p>小児運賃を値上げしないのはどういう理由でしょうか。</p>
淵上氏	<p>自治会として、小児運賃を値上げしないでいただきたいとお願いした。駅の反対側には学校があり、クラブ帰りなど暗い中で帰宅する際に利用する子どももいる。子どもの利用は今後も増える可能性があるのではないかと考えている。また、くすまるは今のところ電子化は進んでおらず、現金または回数券での支払いとなっているため、半額の150円だとおつりの問題も出てくるため、切りよく100円にしたい。また、先ほどの資料にもあったとおり、全体の利用人数からすると、子どもの人数は少ないため、小児運賃は据え置きでも影響は大きくないと考えたため、値上げせずに据え置きの100円をお願いしました。</p>
内田委員	<p>子どもの利用促進施策として前向きな取り組みとして捉えても良いと思いますし、</p>

	<p>そのように周知していただきたい。</p> <p>回数券の販売についても今回のワーキングで決定するということによろしいか。</p>
事務局	<p>今回のワーキングで決めます。</p>
内田委員	<p>5枚1綴りの回数券を設けるということで決定してよろしいでしょうか。</p>
小川委員	<p>先ほど交通会議では、どこまでの内容を運賃協議会で協議すべきか、交通会議でも話すべきかという迷いがあったので、今後…という表現になってしまったが、新回数券については、年間1000セット限定で1500円分を1300円で販売することについては、社内でも決裁が下りており、今回の協議会で決定して問題ありません。</p>
淵上委員長	<p>年間1000セット超えての販売はないか。</p>
小川委員	<p>限定枚数超えての販売はない。4月から販売を予定している。</p>
田中委員	<p>回数券について、販売セット数を決めても問題ないか。</p>
内田委員	<p>販売セット数を決めることは問題ないです。</p>
事務局	<p>交通会議の中でもお伝えしたが、200円を300円にあげるのも、今後利用が増え、収支が安定し運賃改定をする場合は、今回のような会議を開く必要があるが、利用促進施策については、今後も3者でPRしていきたいと考えています。</p>
大石委員	<p>1便当たりの利用者を増やすと、その経費がかかってくるため、需要と供給のバランスが重要と思います。</p>
田中委員	<p>利用が増えることで、運賃が上げ下げすることは問題ないか。</p>
内田委員	<p>中長期的な視点で言うと問題と考えます。</p>
榎井会長	<p>今後はたくさんくすまるとしていただいて、運賃を値下げできるくらい利用促進していきたいと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。それでは、「楠ヶ丘乗合タクシーくすまるとして、</p> <p>令和6年4月1日より</p>

事務局	<p>・1 乗車 300 円とし、回数券は、300円×5枚セットの1500円相当分を1300円で年間1000セット販売するということと、楠ヶ丘自治会において随時販売促進のための割引等を行っていくことなどについては、楠ヶ丘自治会交通対策委員会に一任いただき、次回乗車料金の見直しの際にのみ、運賃協議会の開催をするということでご承認いただけますでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>ありがとうございます。それでは、手続きを進めてまいります。</p> <p>以上をもちまして、運賃協議に関するワーキンググループを閉会いたします。本日はお忙しい中、長時間にわたりご参加くださりまして、本当にありがとうございました。</p> <p>今後とも、本市交通行政にご協力のほど宜しくお願い申し上げます。</p>
-----	---

第62回河内長野市地域公共交通会議運賃協議についてのワーキンググループ出席名簿

	氏名	所属・役職	出欠
1	会長 榎井 繁春	河内長野市 副市長	○
2	委員 内田 雅之	国土交通省 近畿運輸局 大阪運輸支局 総務企画部門 首席運輸企画専門官	○
3	委員 中村 洋一	国土交通省 近畿運輸局 大阪運輸支局 輸送部門 首席運輸企画専門官	代理 大石 信太郎
4	委員 小川 和彦	大阪第一交通株式会社 営業推進室課長	○
5	委員 田和辻 光晴	市民公募	○
6	監事 徳竹 志津枝	市民公募	○
7	委員 田中 博行	河内長野市都市づくり部長	○
8	オブザーバー 淵上 博	楠ヶ丘交通対策委員会委員長	○
9	オブザーバー 中園 千代美	楠ヶ丘自治会副会長	○